

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

第3回本会議

令和5年度7月26日(水)

議題

- ① 2022年度決算案について
- ② 2023年度予算案について

タイムテーブル

18:30	開会	
18:30~18:40	出欠確認・資料確認	10min.
18:40~18:55	議題①	15min.
18:55~19:00	採決①	5min.
19:00~19:15	議題②	15min.
19:15~19:20	採決②	5min.
19:20~19:25	その他諸連絡	5min.
19:25	散会	

出席者

学類等代表者 44名 (うち遅刻2名) 詳細省略

資料一覧

・議事次第(本紙) …23004

議題①「2022年度決算案について」

- ・「2022年度決算案について」 …P23006-00
- ・「2022年度決算案」 …P23006-01
- ・「2022年度会計監査報告書」 …P23006-02

議題②

- ・「2023年度予算案について」 …P23007-00

・「2023 年度収支予算案」

…P23007-01

以下、議事録

開会

○林 凛太郎（議長）

これより、令和 5 年度第 3 回本会議を開会します。

出欠確認・資料確認

○林 凛太郎（議長）

出席者を確認します。慣例に基づき、読み上げられた学類に在籍する代表者の挙手によって確認します。

また、円滑な議事進行のため、ご参加の皆様はこの間に随時資料を確認してください。

出席確認の詳細は省略。

○林 凛太郎（議長）

学类等代表者の出席者は 42 名です。本会議の定足数を満たしたことを確認しました。

議題

○林 凛太郎（議長）

議事に移ります。議事 1「2022 年度決算案」についてです。議事次第に関して総務委員会の川島 淳一郎さんお願いします。

○川島 淳一郎（総務委員会）

「2022 年度決算案について」をご覧ください。

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議 決定「全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議について」（以下、全代会内部規則）第 38 条 5 項において決算案は本会議の承認を受けなければならないため、この度本会議に議題として提出をしました。

末尾 06 の 01 の資料を確認してください。

○川島 淳一郎（総務委員会）

提出した決算案は3つございます。1つ目は貸借対照表です。全代会の財政状況を表すものであり、資産の部、負債の部、正味財産の部に分かれております。資産の欄のお金は新歓費の使用されなかった余りとなります。また負債についてですが、2022年度は全代会の会計からは出費が無かったため、0円となっております。ここでご認識いただきたいのが、全代会が使用可能な資金と会計に記載のある予算はイコールではございません。全代会の使用できる資金は会計に記載のある予算の他にも、生活課予算と呼ばれる生活課から出される資金もございます。

2つ目に説明するのは損益計算書です。貸借対照表と大きく変わる点はございません。内部収入に「賛助金」という項目がございますが、こちらが新歓費となっており、残高が39000円ございます。

次の資料の説明に移ります。3つ目は正味財産増減計算書内訳表です。「繰越金」の欄がありますが、会計制度が作られたのが昨年度のため、2年前以前からの繰り越しはないため0円です。

○川島 淳一郎（総務委員会）

一般的に会計の書類は4月1日からの始まりとなっておりますが、会計制度が導入されたのが2月のためその時点からの開始となっております。会計制度が導入された経緯と致しましては、以前行われていた生活課の予算を使い物品を購入する形だとシステムのサービスなどの購入ができないという問題があったため、会計制度を設立する形となりました。

資料06の02に移ります。今年度の監察役でもある山岸さんから報告がございます。

○山岸 史和（監察役）

2023年度監察役の山岸です。

2023年の会計を監査した報告を致します。監査の方法は決算報告書その他会計資料を拝見しました。監査の結果、事実に基づく会計がためされていたことを報告いたします。

尚、今年度は支出がなかったため、領収書の確認は行いませんでした。

○川島 淳一郎（総務委員会）

こちらからの説明は以上です。

○林 凜太郎（議長）

質問の時間を取ります。その際の注意点を3点お知らせします。

1点目です。発言を求める際には挙手をしてください。係がマイクをお渡しし、発言を許可します。

2点目です。冒頭に、お名前と合わせて学類、学年をお知らせください。

3 点目です。最後の応答から 1 分間経過しても質問がなかった場合、質問の時間を終了いたします。

質問を求める方は挙手をしてください。

以下、質問の許可にまつわる手続きは省略。

○林 凜太郎（議長）

時間となりましたので質問はこれまでといたします。

○林 凜太郎（議長）

投票の手続きについてお話しいたします。

チャンネルにあるフォームより回答をお願い致します。電子投票を行います。学類等代表の方々は、本会議チャンネルに掲載した投票フォームから承認、保留、否認のいずれかを選択してください。

代理出席の方も同様をお願いします。18 時 52 分までに回答をお願いします。

採決の手続きについては省略

○林 凜太郎（議長）

評決は、承認 42 票、保留 0 票、否認 0 票となりました。

よって、本議案は承認されました。

○林 凜太郎（議長）

続いての議事に移ります。

○川島 淳一郎（総務委員会）

全代会内部規則に従い予算についても本会議にて議題として提出しました。まず、収支予算案を見てください。予算で使用できるものは 68,000 円となります。29,000 円は 2023 年度 4 月以降に含まれなかったものとなっております。支出内容としては研修会にて支出を行ったものとなります。続いて経常費用に移ります。これはサーバ代として使用します。予備費として 5,000 円を計上しています。予備費は予算を超過した支出や予定にない支出が行われた場合に使用するものとなります。

○林 凜太郎（議長）

先ほどと同様、1 分間質疑がないようでしたら採決に移ります。18 時 59 分まで質疑を受け付けます。

○澁谷 耕大（地球学類）

現状の収入は全大会の新歓費のみとなっておりますが、支出としては新歓費ではない目的に使用される点がみられます。今後、全大会の新歓費以外の収入の見込みがありましたら、こちらに開示できる範囲でご教示ください。

○川島 淳一郎（総務委員会）

現状、新歓費以外の収入はないのですが、今後紫峰会基金からの援助金を申請する予定であり、そちらから収入を得たいと考えております。

○澁谷 耕大（地球学類）

紫峰会から援助を受けられる見込みはどれくらいありますでしょうか。

○川島 淳一郎（総務委員会）

実作業に関わっている菊田が代わってお答えいたします。

○菊田 一真（総務委員会）

今現在、紫峰会が課題活動団体や行事に関する援助金となっているため、全大会や課外活動団体会議などの学生組織に対する援助が規定されておられません。全大会が援助を受けるためには紫峰会での規定を変える必要があるため、今年度は不可能であり、早くとも来年度には援助を受けることができると考えております。

○竹之内 未来（化学類）

次期繰越金の 3,000 円は少なく不安に思うのですが、来年度以降こちらを増加できる見込みはあるのでしょうか。

○川島 淳一郎（総務委員会）

菊田がお答えいたします。

○菊田 一真（総務委員会）

2024 年度については、2024 年度 4 月に新歓費の収入を見込んでいるため、今年度とおおよそ同じ額が来年度の収入に計上されることを見込んでおります。

○森 望（社会学類）

全大会の新歓費について、内規の制定以前に慣習として徴収されていると認識していますが、一人当たりいくら徴収した結果として報告通りの金額が徴収されたのかご回答ください。

○川島 淳一郎（総務委員会）

1,000円以上を目安に徴収しておりました。

○植木 直生（応用理工学類）

今年から会計制度が設立されたと伺いました。予算案に記載された通信費と広報宣伝費は毎年かかるものだと思うのですが、こちらは新歓費から充てられるのでしょうか。

○川島 淳一郎（総務委員会）

新歓費から出されるという関連はありませんが、今年度は新歓費より支出しております。

○植木 直生（応用理工学類）

新歓費から充てられていないということは、学生生活課予算から使用されていたということでしょうか。

○川島 淳一郎（総務委員会）

学生生活課予算からは物品購入しか行えないため、会計として計上しております。

○菊田 一真（総務委員会）

補足いたします。広報宣伝費について説明します。物品であるもののデータを渡して印刷することは不可能ではないのですが、流れがかなり複雑です。昨年度もジャケットなどを作成した際に同様の方法を用いましたが、相当な時間がかかってしまったため、生活課予算を使用せず全大会予算より支出することとしました。通信費については今年度からメールアドレスを契約するため、今年度新たに計上しました。

○植木 直生（応用理工学類）

了解いたしました。

また、書類にカンマが抜けている箇所があるため、体裁の修正をお願いします。

○林 凜太郎（議長）

時間となりましたので質問はこれまでといたします。

○林 凜太郎（議長）

投票の手続きについてお話しいたします。

チャンネルにあるフォームより回答をお願い致します。電子投票を行います。学類等代表の方々は、本会議チャンネルに掲載した投票フォームから承認、保留、否認のいずれかを選択してください。

代理出席の方も同様をお願いします。19時16分までに回答をお願いします。

採決の手続きについては省略

○林 凜太郎（議長）

評決は、承認44票、保留0票、否認0票となりました。

よって、本議案は承認されました。

委員会報告

○林 凜太郎（議長）

議事次第に乗っ取り、諸連絡に移ります。まず、委員会報告から始めます。委員長は前に来てください。総務委員会の川島 淳一郎さんからよろしくお願いします。

○川島 淳一郎（総務委員会）

総務委員会では第2回本会議の校閲作業を行いました。また、本議題にて提出した会計資料を作成しました。さらに、全大会の Teams と esa（文書管理サービス）の人員整理を行いました。

○竹之内 未来（学内行事委員会）

今週はミーティングを行っていません。来週もおそらく仕事がないためミーティングは開催しない予定です。今後学内行事委員会の人たちと一対一で面談をする予定なので、学内行事委員会の委員の人はよろしくお願いします。また、夏休みの活動予定は今のところありません。

○亀井 健多（教育生活環境委員会）

T-Artに関するアンケートを作成しました。また、総合学域群の学生とともに総合学域群に関するアンケートも作成いたしました。今後といたしましては、収集したアンケート結果をもとにした総合学域群についての協議を秋学期を目安に行う予定です。また BRIDGE という冊子の作成に取り掛かる予定です。委員会は夏休み中にありますが、今のところ活動の予定はありません。

○宮田 青葉（生活環境委員会）

不審者情報が相次いでいたため、twitter で周知を行いました。学内での喫煙に関しても同様の活動をしています。授業中の暑さに関するアンケートについては、収集した結果をもとにした検討を委員会内で行いました。この検討に今後生活課と共に対策を進めていきます。ペDESTリアンデッキの迂回路について、調査が大方終了したため、その広報について今後検討する予定です。夏休みは2回程ミーティングをする予定ですので、生活環境委員会の委員の皆様はよろしく申し上げます。

○林 凜太郎（調査委員会）

調査委員会委員長の曾澤に代わりまして、調査委員会の林より報告させていただきます。今週月曜日のミーティングで、冷房に関するアンケートの集計と報告を行いました。

○江波戸 憧音（広報委員会）

広報委員会委員長の篠崎に代わりまして、広報委員会の江波戸より報告させていただきます。10月1日に発行予定の Campus230 号を鋭意製作中です。その他制作物について、施設部と生活課と協力をして節電に関するポップとポスターの作成を行ったため、今後は設置をメインに行っていきます。教育生活環境調査の三角ポップの作成についてはほぼ終了しており、残りは入稿し設置するだけとなっております。秋新歓や50周年記念、T-ArtのQRコードのポスターについて随時作成を進めていく予定です。SNSについては不審者に関するツイートを行ったため、ご周知のほどよろしく申し上げます。

○宮田 青葉（国際特別委員会）

国際特別委員会委員長の山口に代わりまして、国際特別委員会の宮田より報告いたします。International Day と創基151周年のイベントの運営、Tsuku・Koi という留学生に対する新歓イベントの準備を進めています。Teams の一般チャンネルにも連絡したように人員募集をしているため、余裕があったら是非ご協力のほどよろしく願いいたします。英語力は必要ないので、お気軽にご参加ください。今後は広報委員会とともに活動していく予定です。

○宮沢 純正（情報処理特別推進委員会）

UNTILのイベント開催の準備をしています。今のところ東京キャンパスでの開催を予定しています。

○林 凜太郎（議長）

その他連絡のある方はいませんか。

○菊田 一真（副議長）

全代会室前に竹がおいてありますが、いずれ使いますのでしばらくの間はご容赦ください。

○林 凜太郎（議長）

テスト期間前での開催ということや、出席者の体調不良もあり、今回の出席率は芳しくありませんでした。次回以降欠席があらかじめわかっている場合は代理出席制度を活用していただくようお願いいたします。また、夏休み期間中で面談を行います。これについては別途連絡いたします。夏休み期間中も連絡が必要になる可能性があるため、Teams は適宜確認するようにしてください。

○林 凜太郎（議長）

本日はこれにて散会します。

散会

以上 総務委員会 老松、鎌刈、田口 作成